

意見・質問	回答
<p><一般競争入札案件></p> <p>① 6災313号 蛸島漁港 災害復旧工事（概略発注対象工事）</p> <p>・1者応札について、県で業者の受注状況などの情報を把握できるのか。</p> <p>・入札情報は、オープンにされているものか。</p> <p>・評価調書の「同種工事の実績」の欄について、「企業の技術力」に加点があるが、「配置予定技術者の能力」には加点がない。これは、技術者に施工実績がないが、会社としては施工実績があるということか。</p> <p>・他でも同様の工事があると思われるが、船団や作業船を準備しなければならないことについても、入札参加のネックになっているのか。</p>	<p>・発注する段階において、各発注者が公表する入札情報システムの入札結果などで、業者の受注状況を確認して発注している。</p> <p>・石川県では土木部監理課のホームページから閲覧でき、国や市町についても各ホームページで同様に調べることができる。</p> <p>・その通り。</p> <p>・自社で船を所有している又は、他社から船を借りることができる業者が限られていることからそのようなことも考えられる。</p>

意見・質問	回答
<p>② 和倉海岸 高潮対策工事（護岸工その2）（概略発注対象工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JV 補正点の算出方法を教えてほしい。 ・関連工事（ダルマ工事）の入札参加者も同じ業者か。 ・代表者の営業所の所在地について、地域要件を設定している理由を教えてほしい。 <p>③ 県有施設グリーン化（LED照明）改修工事（県庁舎2期・行政庁舎その1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連工事（ダルマ工事）を含めた3件について、それぞれ異なるJVによる1者応札となっている理由は。 ・類似工事を踏まえ、1者応札が多いのか。 ・落札率が高止まりしている理由は。 	<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域精通度と地域貢献度から算出される点数に、出資比率を乗じて算出する。 ・その通り。 ・所在地要件を設定しても、参加業者数が十分に確保される見込みがあるため、地域要件を設定したもの。 ・当該工事は複数期に分割して発注しており、1期工事で応札した業者が、それぞれ精通している施工箇所の2期工事に入札したという事情が推察される。 ・その通り。夜間・休日工事であり、工期も長期に及ぶため技術者・作業員の確保が困難なことが要因であると推察される。 ・夜間工事・休日工事を踏まえ、事前に公表された予定価格に基づき、業者が詳細に積算したものと推察される。

意見・質問	回答
<p><指名競争入札案件></p> <p>④ 令和7年度(令和6年発生) ため池災害復旧事業 七尾地区 堤体復旧工事</p> <p>・ 辞退が4者あるが、辞退理由はわかっているのか。</p> <p>・ 予定価格と同額で入札されている中で、最低制限価格未満で入札した業者が1者あるが、これは金額を勘違いして入札したものなのか。</p> <p>・ ため池工事は「特別の技術を要する工事」とされているが、ため池工事は全て指名競争入札で行うのか。</p> <p>・ 能登の災害復旧工事等の影響で辞退者が多数出ているのかもしれないが、このようなことが想定されるのであれば、事前に指名の間口を広げたりはしないのか。</p>	<p>・ 各業者の技術者不足が主な理由である。</p> <p>・ 当該業者の積算上の間違いかと思われる。</p> <p>・ 当該工事については、予定価格が1億円未満の災害工事であることから、指名競争入札で行ったものである。通常のため池工事は、予定価格3千万円以上であれば、一般競争入札で行う。</p> <p>・ 仮に間口を広げたとしても、当該工事に遠方から参加する業者は少ないと思われる。今回は工事場所から近い地域で十分な業者数が確保できたものである。</p>

意見・質問	回答
<p>⑤ 一般国道 157号 橋りょう補修工事（白峰大橋）（塗装工その1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他工事と比較して、塗装工事では辞退が少ないのか。 ・工事を分割して発注する理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木一式工事と比較すると、業者数が多いことにより、辞退が少ないと推測される。 ・本工事をはじめ、塗装工事では施工可能な季節が限られており、分割して速やかな施工完了を図るため分割発注している。
<p>⑥ 二級河川 浅野川ほか 緊急県単河川防災工事（直流電源装置更新工）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連会社を指名業者から除外しているとのことだが、規定として定めているのか。 ・辞退の理由は確認しているか。また、棄権と辞退の違いは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定めている。資本関係・人的関係を有する関係会社については、公正な競争を確保する目的から同一入札に参加することができないこととしている。 ・技術者不足と確認している。棄権は辞退届の提出がなく、札入れがなかったものである。

意見・質問	回答
<p><随意契約案件></p> <p>⑦ 令和7年度本多の森第1会議室絨毯張替え工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の算出根拠は。 ・ 見積徴収先はどのように選定したのか。 ・ 浸水を踏まえたうえで、衛生的観点から、絨毯張替以外の方法は検討しなかったのか。また、浸水対策は検討しているのか。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均落札率が上昇傾向にあるが、労務単価の見直しの影響や今後の動向は。 ・ 昨年度よりも工事発注件数が減っているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者より参考見積を徴収したうえで、積算している。 ・ 実績を有する事業者に連絡し、早期に着手可能な3者を選定した。 ・ 音響や見栄えを考慮し、従来通り絨毯を張り替えることで復旧することとした。浸水対策については、必要な対応を検討してまいりたい。 ・ 法改正による労務費の基準を踏まえた入札が今後増えることで、直接工事費も高くなるものと推察される。引き続き、適切に対応してまいりたい。 ・ 1件当たりの工事の発注規模を大きくしているためである。